

令和5年度第2回豊田市男女共同参画推進懇話会会議録

- **日 時** 令和5年8月24日(木) 午後2時00分～3時30分
- **場 所** とよた男女共同参画センター 22会議室
- **出席者** 懇話会委員 石田路子(座長)、吉野まり子(副座長)、尾原洋子、新谷千晶、
滝沢一也、石田祐己、岩月由紀子、佐竹裕子、古賀康二郎

事 務 局 生涯活躍部市民活躍室長 加藤、市民活躍支援課長 小澤
とよた男女共同参画センター 伊藤、村上、宮地

- **欠席者** 榎 由佳

1 開会

小澤課長挨拶

2 議事

(1) 令和5年度男女共同参画社会に関する意識調査について(検討)

事務局が資料に基づき市民意識調査票の事務局案を説明。

<市民アンケートについて 意見>

A 委員

表紙に所要時間が15分程度と書いてあるが、実際にやってみると15分ではできない。表紙に所要時間を書くのなら修正が必要ではないか。また、“〇はいくつでも”という設問の場合、特に優先だと思うものに二重丸をつけるなど優先順位がわかるようにしたほうがよい。豊田市の取組みを聞く設問で、「女性の出産後の育児支援」などをいれなくてよい。子どもに身につけて欲しいことについて、「考える力」「分析・理解する力」「コミュニケーション力」など、いまの社会で子どもたちが身につけるといいものに近づけていくといい。

事務局

子どもたちに身につけて欲しい内容については、経年や国県・他市比較ではなく新しく追加したもので、いただいた意見を参考にして作っていく。豊田市の取組みを聞く設問については、どれだけ入れるか全体のバランスや所管課の意向を聞き検討する。
“〇はいくつでも”という設問については、過去の聞き方に合わせており、経年比較にどのような影響が出るかを確認して検討する。回答所要時間についてはどのような記載がよい、必要かを確認する。

B 委員	DV の認識についての設問だけ、知識を問うクイズのようになっている気がする。
事務局	DV の認識については、過去の調査では行為を羅列して暴力にあたるかどうかを聞いていたが、量が多すぎるので今回はまとめて新しい設問となっている。誤解のないような回答項目になるように設問を検討していく。
C 委員	表紙に男女各 2,000 人無作為とあるが、回収率は何割ぐらいか。
事務局	前回の回収率は 3 割強。
C 委員	多くの方々に意見を伺いたいのであれば、15 分程度で済むような設問数にし、2 回に分けるなどの方法もあるのではないかな。 豊田市の取組みを聞く設問で「満足」「どちらでもない」「不満」「わからない」とあるが、「どちらでもない」と「わからない」をどちらか 1 つにしたらどうか。
事務局	設問数を減らしたいが、経年比較をしている項目や現行プランで指標として目標値が設定されており、調査しなければいけない項目もあって、なかなか削れないという現状がある。
C 委員	表紙の挨拶文が、市民に対するもの、事業所に対するもの、中学生に対するもので内容が違っていて長い。もっと簡単にしてもよいのではないかな。
事務局	簡潔にする方向で検討する。
D 委員	C 委員が言われた「どちらでもない」「わからない」の違いは、確かに分かりづらい。どちらか一つでいいのではないかなと思うが、あえて選択肢を 4 つ設けた理由はあるか。
事務局	満足でも不満でもないという意味での「どちらでもない」、 「わからない」は内容を知らないという意味。「わからない」「どちらでもない」という表現を検討することは可能。
D 委員	事業があることすら知らないということもあるので、「知らない」という表現がいいと思う。
E 委員	実際に回答してみたが、15 分では半分ぐらいしか進まなかった。また、事業については資料がないと、どんな事業をやっているのかわからない。自分でも調べられない。アンケートはプランの冊子と一緒に送るのか。
事務局	原稿のプランの内容は市のホームページに載っている。例えば QR コードや URL を掲載して参照を案内することは可能。

E 委員	設問数が多いので、最後の方になるとどうしてもよくなったりして、回答の質が下がってしまうと思う。効率よく回答してもらえるといい。
F 委員	感想も含めてだが、学校では普段「男の子は」「女の子は」と知らず知らずのうちに擦り込まれていることが多くあると改めて思った。こどもに身につけて欲しい力の問いについては、指導要領等とリンクさせるようなものでもよいのではないかと感じた。 また、経年でいろいろ追っているので削るのが難しいものをコンパクトにしているのはわかるが、最後の豊田市の取組みについての問いは、どの程度知っているかわからない中で、満足度も重要度もというのは答えづらい。
G 委員	性的マイノリティについての設問で、LGBT と書いてあるが、LGBTQ ではない理由があるか。
事務局	誤記であるので修正する。
G 委員	以前、LGBTQ+が最新の表現だと聞いたことがある。表記についても配慮が必要であると思う。
H 委員	設問のボリュームが多すぎると思った。Web で回答するときに、回答途中での保存機能をつけてほしい。また、1つの文章が長いとスマホで見ると見にくいと思う、フォントの大きさを調整するなどして見やすくしてほしい。
I 委員	経年で調査していることもあると思うが、DV の質問のボリュームが多いと思うので、それを減らすとボリュームを下げられると思う。Web の一時保存についても同感。
B 委員	Web の一時保存については最初の説明に入れられるか。
事務局	回答方法に記載する。

事務局が資料に基づき事業所アンケートの事務局案を説明。

<事業所アンケートについて 意見>

I 委員	従業員数 300 人以下の 300 事業所が対象とあるが、F1 で 1,000 人以上とあるが、全社で 1,000 人を超える事業所にも送るということか。
事務局	全社の規模を記入していただくことになっている。

I 委員	1 事業所で 300 人を超えないということか。
事務局	1 事業所では 300 人以下、全社では 1,000 人超という事業所もある。
I 委員	女性従業員の就労の傾向についての設問の選択肢で、「出産を機に退職し」とあるが、休職して戻ってくる場合もある。退職すると再雇用になってしまいます。両方の場合も含めて 1 回休んでから戻るということであれば休・退職とした方がいいのではないか。 育児休業制度を利用した従業員の復職後の昇進・昇格についての設問は、選択肢中にある“休業したから昇進・昇格が遅れる”というのは法律上問題があり、回答しづらいと思う。
D 委員	女性管理職が少ない理由についての設問で、そもそも女性従業員数がとても少ないという理由もあるのではないかと思います。

事務局が資料に基づき中学生アンケートの事務局案を説明。

<中学生アンケートについて 意見>

F 委員	対象は中学 2 年生で市内 2 校を想定しているということだが、中学 2 年生は教育委員会で実施する学力調査等と重複するので、2 校程度なら中学校 3 年生でも負担ではないのかなと思う。 調査項目の選択肢で、基本項目では男が前になっているが、他の項目で母親(女)が先になっており、項目によって男女の順番が変わっているので違和感がある。
事務局	選択肢については女（母親）からに統一するよう訂正する。
I 委員	性の多様性に関する設問で、注釈が抜けていると思われる。
事務局	注釈を記載する。
D 委員	性の多様性に関する設問の中にジェンダーという言葉があるが、設問の中にあるのは適切ではないと思うので検討してほしい。
事務局	掲載箇所について検討する。

3 閉会